

上信自動車道景観誘導地域とその周辺地域における

屋外広告物ガイドライン

～地域の魅力を高めるために～



はじめに

群馬県では、草津温泉や四万温泉、現在整備中のハッ場ダムなどへの観光ルート等における良好な景観形成を図り、観光県ぐんまの魅力を高めることを目的に、平成29年4月に、上信自動車道を景観誘導地域として指定し、地域の景観特性に応じた屋外広告物の規制を行うこととしました。

本ガイドラインは、景観誘導地域及び景観誘導地域に準じた連続性のある周辺地域においても、良好な景観形成が図られることを目的として、屋外広告業者・広告主、並びに設置に係る関係者の皆さんを対象に、具体的な事例やデザイン手法、考え方等をわかりやすく解説し、まとめたものです。屋外広告物を作成、設置する際の参考としてください。

目次

1章	ガイドラインの適用範囲	01
1-1	ガイドラインの対象とする地域	03
1-2	対象地域の現状と課題	04
1-3	基本方針と計画のポイント	06
2章	屋外広告物ガイドライン	07
2-1	設置計画	08
2-2	情報計画	12
2-3	プロダクト計画	16
3章	参考資料	21
3-1	表記について	22
3-2	色彩について	23
3-3	設置について	24

※上信自動車道景観誘導地域とその周辺地域における屋外広告物掲出者自己チェックシート

1章 ガイドラインの適用範囲

1-1 ガイドラインの対象とする地域

1-1-1 対象地域

- 上信自動車道景観誘導地域及び上信自動車道にアクセス可能な周辺の既存路線
- 主要観光地へのアプローチとなる上信自動車道景観誘導地域と連続性のある周辺地域



※詳細については「群馬県 HP：マッピングぐんま」を参照

- 景観誘導地域
- 景観誘導予定地域
- 未供用を含む上信自動車道上の各 I.C. にアクセス可能な周辺の主な既存路線
- 主要観光地へのアプローチとなる上信自動車道周辺地域 (対象内の一般道路を含む)

※景観誘導地域における規制については、群馬県 HP 内「上信自動車道景観誘導地域における許可基準の特例」を参照ください。

1-2 対象地域の現状と課題

1-2-1 問題点と課題の整理

設置に関する問題点



過剰な大きさの屋外広告物が景色を妨げる。



形や大きさ、高さがバラバラで見苦しい。



いろいろな大きさの屋外広告物が密集していて読みづらい。



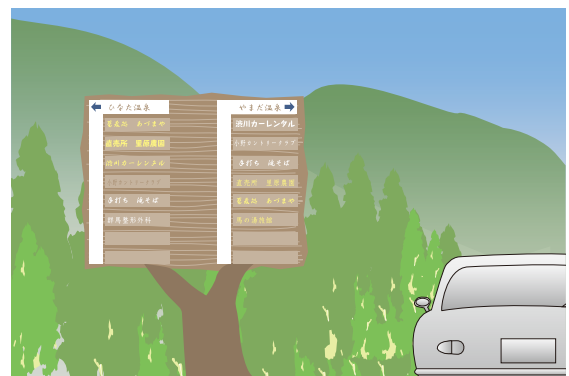
屋外広告物が散乱し、視点が定まらない。

- 課題
- 景観を阻害する大型広告物
 - 大きさ、高さ、設置間隔など無秩序な広告物

表記に関する問題点



文字書体や大きさがバラバラで読みづらい。



文字数が多すぎて読み取れない。

- 課題
- 読みづらく、伝わりにくいレイアウト
 - 読み取れない文字情報

色彩に関する問題点



表示の色数が多く落ち着きがない。



高彩度の色彩が景観を阻害している。

- 課題
- 表示の色数が多い
 - 景観を阻害する色彩

プロダクト、維持管理に関する問題点



経年劣化により文字の剥がれた屋外広告物。



老朽化し放置された危険な屋外広告物。



広告主不在の空き看板。



目立ちすぎる電照式広告物。

- 課題
- 本体、表示面の不十分なメンテナンス
 - 老朽広告物の放置
 - 目立ちすぎる電照式広告物

1-3 基本方針と計画のポイント

本ガイドラインは上信自動車道景観誘導地域と連続性のあるその周辺地域に対して、分かりやすく質の高いデザインの屋外広告物が掲出されるように誘導し、魅力的な地域づくりを推進することを目的としています。

これまでの調査から抽出した現状の課題より、以下のような基本方針と計画のポイントを掲げます。

課題	設置 ■景観を阻害する大型広告物 ■大きさ、高さ、設置間隔など無秩序な広告物	表記 ■読みづらく、伝わりにくいレイアウト ■読み取れない文字情報 色彩 ■表示の色数が多い ■景観を阻害する色彩	維持管理 ■本体、表示面の不十分なメンテナンス ■老朽広告物の放置 ■目立ちすぎる電照式広告物
基本方針	景観の保全と調和 / 読み取りやすい情報 / 安全性の確保		
ガイドライン	設置計画 設置の流れ <input type="checkbox"/> 高さを低く抑える <input type="checkbox"/> 高さを揃える <input type="checkbox"/> 一定の間隔を確保する <input type="checkbox"/> 集合看板を用いる <input type="checkbox"/> 数量を限定し広告物を組み合わせる	情報計画 ソフト <input type="checkbox"/> 読みやすい文字や大きさの設定 <input type="checkbox"/> 表示する文字数を抑える <input type="checkbox"/> 高彩度の色彩は使用しない <input type="checkbox"/> 表示の色数を減らす	プロダクト計画 ハード <input type="checkbox"/> 設置後の定期点検を行う <input type="checkbox"/> 効果的な照明計画を立てる <input type="checkbox"/> 可変表示は控える

2章 屋外広告物ガイドライン

2-1 設置計画

2-1-1 設置計画のポイント 1

高さを低く抑える

一定の間隔を確保する

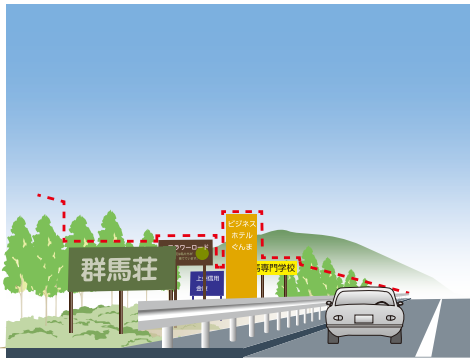
高さを揃える

集合看板を用いる



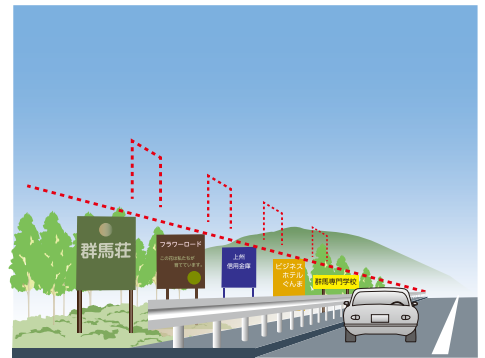
自然景観と調和し、わかりやすく魅力を伝えることができます。

- ・良好な眺望景観を望める場所では、屋外広告物によって阻害しないようにしましょう。
- ・近隣の看板等の状況を把握したうえで、高さを揃えましょう。
- ・運転手から見て、前後の看板が重ならないよう一定の間隔を確保しましょう。

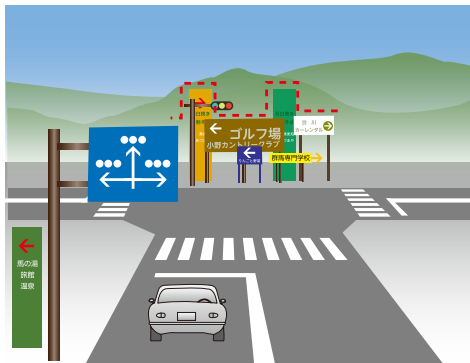


高さを揃える

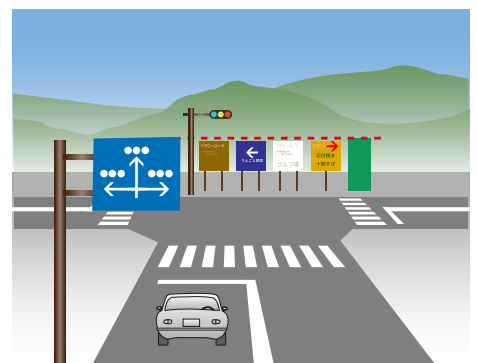
一定の間隔を確保する



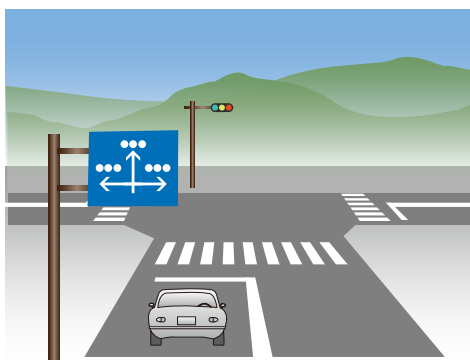
- ・交差点付近では、信号や標識への視線を妨げない高さや位置としましょう。



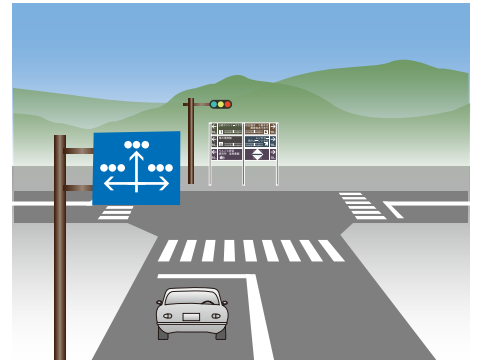
高さを低く抑え、揃える



- ・看板のない交差点付近へ新規に設置する場合、集合看板を用いることを検討しましょう。



集合看板を用いる



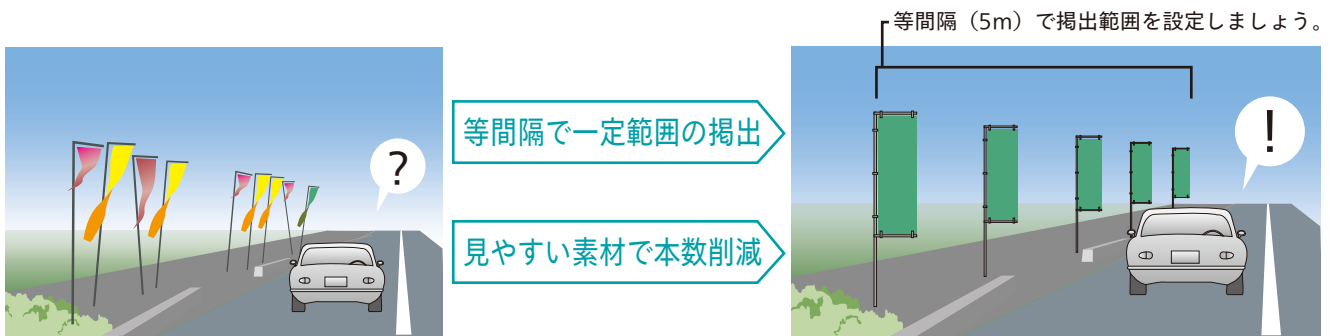
2-1-2 設置計画のポイント 2

□数量を限定し広告物を組み合わせる



敷地全体で広告効果が高めることが可能です

- ・ のぼり旗は掲出範囲と設置間隔を決め、たなびきにくい素材とすることで、本数を抑えても存在感や視認性が向上します。



※電柱やガードレールなど、道路附属物への広告物の設置は禁止されています。

- ・ 屋号は、建物面や屋根なども含め、周囲の景観と調和しながら見やすい位置へ設置しましょう。



2-2 情報計画

2-2-1 情報計画のポイント1

- 読みやすい文字や大きさの設定
- 表示する文字数を抑える



より美しく、より見やすくなります。

- ・文字の形や大きさを統一することで速やかな情報伝達が可能です。



文字の大きさを統一する

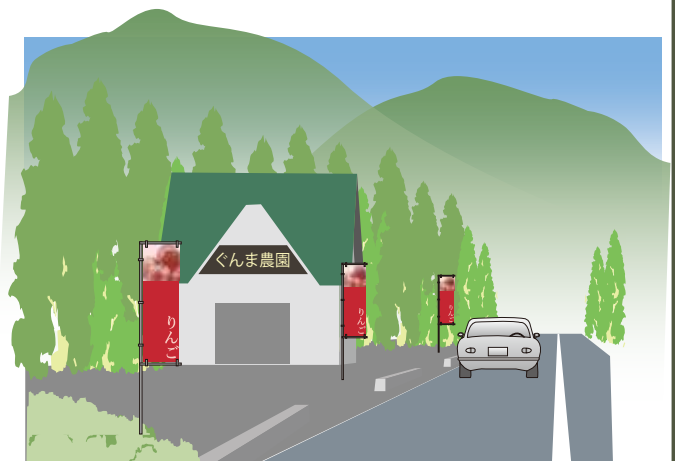
見やすい書体の選定



季節感や特産物の旬の情報を伝えることができます。

地域や資源のイメージを伝える表現方法（デザイン）を統一したり、旬の時期に合わせて短期間に効果的に掲出することで、地域の魅力向上に繋がります。のぼり旗などは色面のみで伝えることを意識し、文字などの情報は最小限としましょう。

デザイン例



2-2-2 情報計画のポイント 2

- 高彩度の色彩は使用しない
- 表示の色数を減らす



特色のある景観を保全し、活かすことに繋がります

- ・ 広告物が集合する場合、見通しの良いロードサイドでは、店舗系の大型看板の「地」の色彩を揃えることで、特色のある景観を保全することに繋がると共に地域の魅力向上に寄与します。
- ・ 彩度等の考え方はガイドライン（3章 参考資料 P23）を参照。

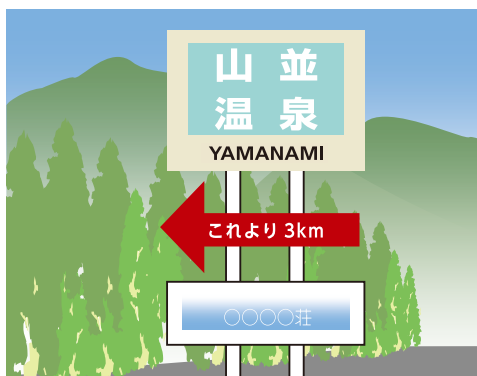


色彩を揃える

彩度を抑える



- ・ 広告物が単体の場合、使用する色彩の数を抑えることで、バランスの取れた見やすい屋外広告物とすることが可能です。
- ・ 伝達したい情報を整理したうえで、シンプルに板面をレイアウトしましょう。



色数を抑える

シンプルにレイアウトする



2-3 プロダクト計画

2-3-1 プロダクト計画のポイント 1

□設置後の定期点検を行う

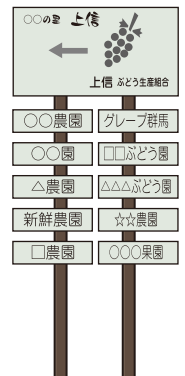
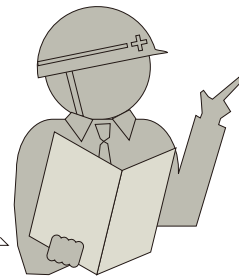
- ・屋外広告業者は、管理台帳等を用いて、適切に屋外広告物の管理を行うとともに、定期的に点検を行う必要があります。

定期点検の実施



管理台帳

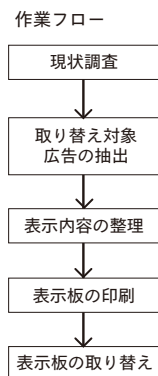
- ・管理番号
- ・状態チェックリスト
- ・配置図、写真
- ・管理番号
- ・本体図、取付詳細



※本体劣化などが原因で、倒壊した場合や事故が起きた場合には、設置者・管理者の責任となります。

- ・素材が金属の場合、長期的な視点で錆びにくい素材（ステンレス等）を選択し、素材に合った定期的なメンテナンスを行いましょう。
- ・情報劣化や退色の度合、破損状況等をチェックし、屋外広告物としての機能に支障をきたすものについては、表示板の取り替えや撤去をしまししょう。

■表示板の取り替えのフロー



既存パネルの取り外しと
新規パネルの取り付け

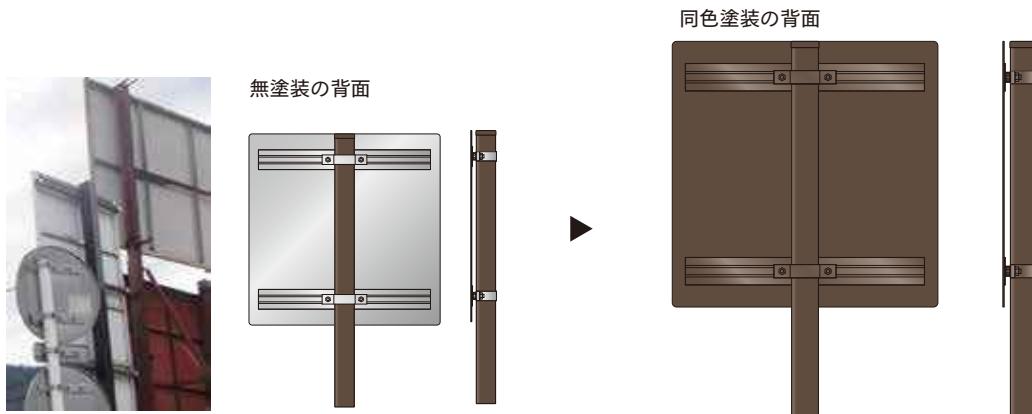
例) 退色の進んだ表示面

安全性を確保し、美観を保つことが必要です

- ・ 広告募集中など広告主が不在な場合、表示面が周辺環境になじむよう、低彩度・低明度の色面で塗装しましょう。



- ・ 看板のフレーム（骨組み）について、景観との調和に配慮し、彩度・明度の低い色彩の塗装とします。（3章 参考資料 P23）
- ・ 表示板の裏側など見えない部分についてもフレームと同色の塗装とします。



2-3-2 プロダクト計画のポイント 2

- 効果的な照明計画を立てる
- 光源を持つ可変表示は使用しない



夜景を演出することで、地域の魅力が向上します

- ・目立たせる照明ではなく、美しく見せる照明計画を立てましょう。
- ・店舗の看板の場合、ファサード全体で照明計画を立て、魅力的な夜景を演出しましょう。
- ・照明器具は屋外では劣化が早いので、頻繁な点検が必要です。
- ・アンドン式の大型内照看板は避け、間接照明や文字の形で光るサインを用いましょう。



電光掲示板等は、景観上好ましくありません。

- ・電氣的に表示内容を変化させることができる電光掲示板等は、昼間でも見える輝度に設定しているため、夜間における周辺地域への影響に配慮が必要です。



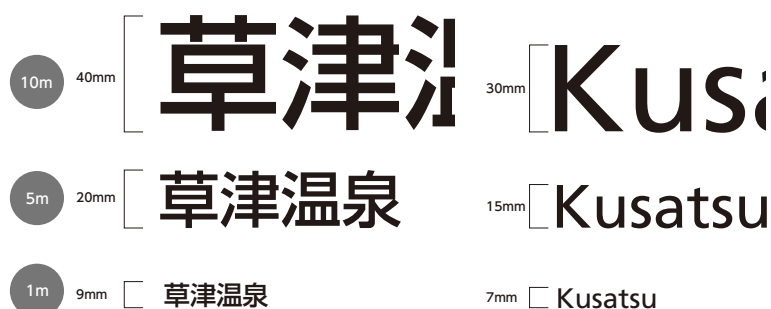
電光掲示板等は設置しない

3 章 参考資料

3-1 表記について

3-1-1 見やすい文字のサイズ

サインの文字の大きさを決める目安としては【文字の高さ × 250 = 可読距離】。例えば 10m くらい離れて見るサインであれば文字の高さは 4 cm 以上必要となります。



- ① 車両に向けた交通に係る禁止・注意喚起サイン
視認距離 10 ～ 20m、和文文字サイズを 40 ～ 80mm 程度
- ② 歩行者等に向けた案内誘導サインの見出しや行き先表示サイン
視認距離 5 ～ 10m、和文文字サイズを 20 ～ 40mm 程度

視認距離	和文文字高 (mm以上)	欧文文字高 (mm以上)
100m	400	300
50m	200	150
20m	80	60
10m	40	30
5m	20	15
1m	9	7

3-1-2 ピクトグラム・外国語表記

●ピクトグラム

※
標準案内用図記号（大部分が JIS 規格化）及び JIS のピクトグラムの使用を推奨します。（類似のピクトグラムの安易な作成・使用は望ましくありません。）

※（公財）交通エコロジー・モビリティ財団が策定。案内用図記号（JIS Z8210）に登録されていない項目を含む標準案内用図記号を公表しています。

●多言語表記（英語併記）

交通施設や外国人の利用が想定される施設には英語を併記します。

地域ごとの来訪者事情により、日本語、英語以外の言語を併記することに留意します。

英語を併記する場合、固有名詞にはヘボン式ローマ字を使用し、後ろに～ Bridge や～ River など、意味が伝わる英語を補足することに留意します。

ピクトグラム例（標準案内用図記号 / JIS）



英語を併記し外国人にも情報を提供します。

3-2 色彩について

3-2-1 色のものさし（マンセル記号）

色は、色相（色味）、明度（明るさ）、彩度（色の鮮かさ）の3つの属性で表され、これを組み合わせて色を表す仕組みがマンセル表色系です。

マンセル記号とは、色相・明度・彩度の表記方法で、全ての色を数値記号で表します。屋外広告物では設置する環境に応じて表示面の地の色や図の色を決めますが、バランスの良い色彩感覚が求められます。

マンセルの色相環

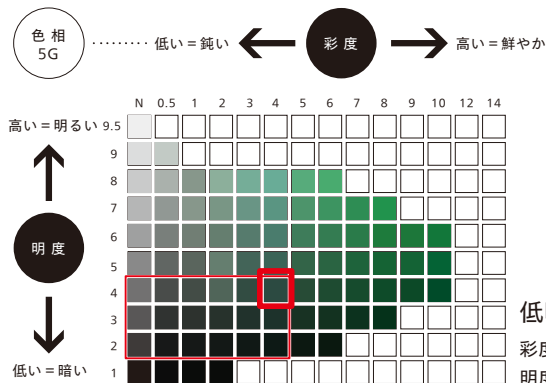


3-2-2 色彩選定の考え方

自然景観を背景とした場合、低彩度の色調が馴染みます。また、表示面の地色は低明度にし、文字等は明度をあげることで、しっかりとコントラストの取れた広告物が作成できます。

景観誘導地域の集合看板では下記の色彩を採用しており、看板設計の際に指標としてください。なお、地色に真白、真黒を使用する場合は、景観に影響を及ぼすため、細心の注意が必要です。

同じ色相の明度と彩度【緑：（5G）の場合】



低明度・低彩度の色彩例（ダークトーン）



低明度・低彩度の色彩例
彩度は4以下の範囲とします。
明度は2～4の範囲とします。

※景観誘導地域の集合看板で使用できる色彩

看板モジュールベース色	マンセル値	日塗工	
	赤 10R 2/2	J09-20D	有彩色
	茶 10YR 3/1	J19-30B	
	緑 5G 2/2	J45-20D	
	青 5PB 2/2	J75-20D	
	紫 5RP 2/2	J95-20D	
	グレー N2.5	N-25	無彩色

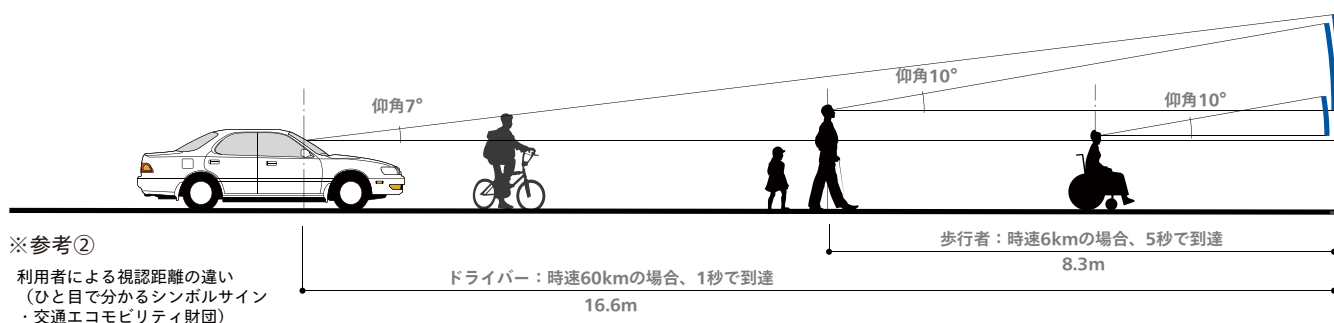
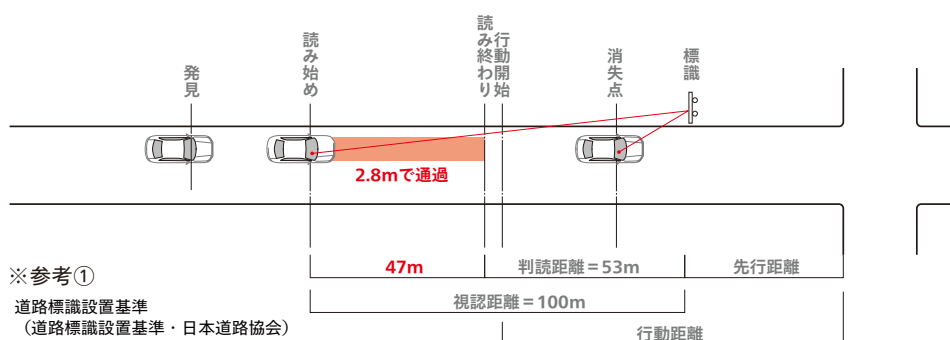
主名称・矢印 仕切りライン色	マンセル値	日塗工	
	白 N9.5	J N-95	無彩色
距離表記・ピクトグラムベース色 欧文表記・電話番号表記	マンセル値	日塗工	
	ライトグレー N7.5	J N-75	無彩色
表示板裏面 本体支柱色	マンセル値	日塗工	
	ダークグレー N1.5	J N-15	無彩色

3-3 設置について

3-3-1 広告物の設置課題

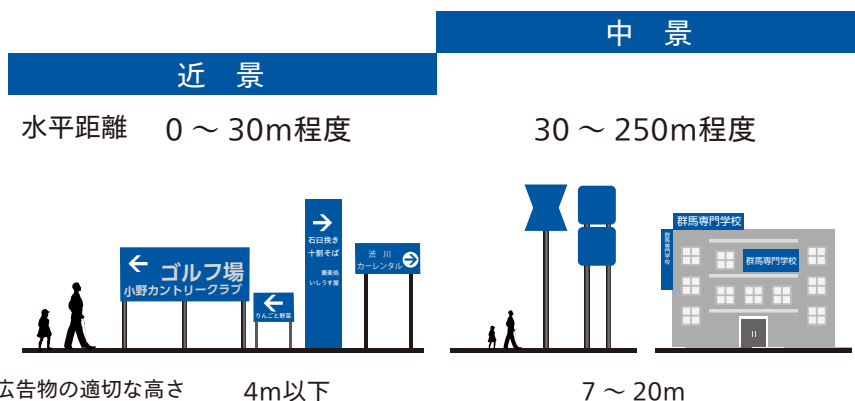
さまざまな環境の中に設置され、適切に情報の伝達を行う必要がある屋外広告物には、以下の条件を満たす必要があります。設置にあたっては、利用者（自動車、自転車、歩行者）からどのように見えるかを意識することも大切です。

1. 発見されやすいこと
2. 素早く理解できること
3. よく管理されていること
4. 情報に一貫性があること
5. 周辺環境と共存していること



3-3-2 屋外広告物と景観の視点

屋外広告物と景観の見方については単体としての広告物のみならず「隣り合う広告物との関係（近景）」、「建物との関係（中景）」、「背景との関係（遠景）」を意識することが大切です。



※効果的な屋外広告物は地域の状況に合わせ、大きさ、高さ、色彩などについて景観を考えて設置することが大切です。

＊本ガイドラインに則り、屋外広告物を掲出する際に活用してください。

上信自動車道景観誘導地域とその周辺地域における
屋外広告物掲出者自己チェックシート

記入者	所属・氏名：				
確認日	年 月 日				
設置場所	住所：			管理番号	
規格	横 (m)：		縦 (m)：		
	高さ (m)：		面積 (㎡)：		
広告物種類	ア.自家広告物	イ.非自家広告物		ウ.案内広告物	
	1.広告板	2.広告塔	3.アーチ	4.屋上広告	5.突出広告
	6.壁面広告	7.広告幕	8.立看板	9.広告旗	10.その他 ()
照明	1.内照式	2.外照式	3.電光掲示板	4.無灯式 (照明なし)	

ガイドライン推奨基準		はい	いいえ
設置計画	周囲の景観を阻害しないよう高さを低く抑えていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	周囲の広告物と高さを揃えていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	広告物が重ならないよう一定の間隔を確保していますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	集合看板を用いることを検討しましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	一つ一つの広告物を効果的に設置することで、設置数を抑えるように努めていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
情報計画	読みやすい文字や大きさの設定をしていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	表示する文字数を抑えていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	周囲の景観に馴染まない高彩度の色彩は控えていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	表示する色数を減らしていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
プロダクト管理計画	設置後の定期点検を行っていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	効果的な照明計画を立てていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	可変表示は控えていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

平成 31 年 3 月

群馬県 県土整備部 都市計画課

群馬県前橋市大手町 1-1-1

TEL 027-226-3652

FAX 027-221-5566